

2006 年 IEEE Kansai Section
総会資料

2006 年 2 月 14 日
IEEE Kansai Section

2006年IEEE Kansai Section総会

- 1 . 日時： 2006年2月14日(火)15時00分～17時30分
- 2 . 場所： 関西電力本店 関電会館5号会議室
530-8270 大阪市北区中之島3-6-16
- 3 . 総会スケジュール
 - 1 . 支部長挨拶
 - 2 . 役員・理事紹介
 - 3 . 2005年活動報告および会計報告
 - 4 . 2006年事業計画および予算案承認
 - 5 . Chapter役員および活動紹介
 - 6 . IEEE Kansai Section GOLD Award 授賞式
 - 7 . IEEE Kansai Section 学生研究奨励賞授賞式
 - 8 . IEEE Kansai Section メダル授賞式
<休憩>
 - 9 . IEEE Kansai Section 新 Fellow 紹介及びスピーチ
 - 10 . 閉会の挨拶

IEEE Kansai Section GOLD Award受賞者

(敬称略)

原 隆浩 (大阪大学)

IEEE Kansai Section学生研究奨励賞受賞者

計10名(受付順、敬称略)

中里 昌人	(奈良先端科学技術大学院大学)
金 鍾玉	(大阪大学大学院)
安部 誠也	(大阪大学大学院)
松原 崇充	(奈良先端科学技術大学院大学)
大平 昌敬	(同志社大学大学院)
井上 貴浩	(立命館大学大学院)
松村 友哉	(大阪大学大学院)
小田 祥一朗	(大阪大学大学院)
天寄 聡介	(大阪大学大学院)
大下 裕一	(大阪大学大学院)

IEEE Kansai Section メダル受賞者

計 2 名 (アルファベット順、敬称略)

有本 和民 (ルネサステクノロジ)
中前 幸治 (大阪大学)

IEEE Kansai Section 新Fellow氏名

計 4 名 (アルファベット順、敬称略)

荒木 光彦 (京都大学)
池田 克夫 (大阪工業大学)
木戸出 正繼 (奈良先端科学技術大学院大学)
小林 哲郎 (大阪大学)

2005 年関西支部活動報告

1. 総会

2005 年 2 月 10 日 (木) に中央電気倶楽部 215 号室において、2005 年総会を開催した。Kansai Section Gold 賞授賞式、学生研究奨励賞授賞式、2005 年新 Fellow 3 名による記念講演を実施した。参加者：43 名

2. 理事会

第 1 回理事会 1 月 18 日 中央電気倶楽部 出席者：9 名

- ・ 2005 年総会について
- ・ 2004 会計報告について
- ・ 会議協賛について

第 2 回理事会 2 月 10 日 中央電気倶楽部 出席者：11 名

- ・ 2005 年総会について
- ・ Gold Award の受賞について
- ・ 学生研究奨励賞の受賞について
- ・ 関西支部メダルの受賞について
- ・ Fellow 推薦について

第 3 回理事会 3 月 11 日 関西電力本店 出席者：5 名

- ・ IEEE Japan 設立について
- ・ Region 10 Meeting 2005 について

第 4 回理事会 4 月 18 日 関西電力本店 出席者：8 名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ Region 10 Meeting 2005 参加報告
- ・ News Letter について

第 5 回理事会 6 月 21 日 関西電力本店 出席者：5 名

- ・ 「学会活性化セミナー」の開催について
- ・ 会議協賛について

第 6 回理事会 9 月 7 日 中央電気倶楽部 出席者：11 名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ IEEE Milestones 経過報告
- ・ 関西支部メダル作成について
- ・ 学生研究奨励賞について
- ・ Gold Award について
- ・ Committee の活動状況について
- ・ 2005 年会計中間報告について
- ・ HP/ML の運用について
- ・ Section Congress 2005 参加について
- ・ News Letter について

第 7 回理事会 12 月 15 日 中央電気倶楽部 出席者：10 名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ 2005 活動報告・2006 活動計画について
- ・ Gold Award の審査について
- ・ 学生研究奨励賞の審査について
- ・ 関西支部メダルの授与について
- ・ 2006 新 Fellow の報告について
- ・ 2007 年 Fellow 候補の推薦について
- ・ IEEE Milestones 贈呈式報告

3. 技術講演会

Technical Program Committee の企画により以下の支部主催講演会を実施した。

・ 関西支部主催第 30 回技術講演会

日時：2005 年 1 月 25 日 (火) 13:00 ~ 14:30

場所：大阪大学大学院工学研究科 (参加者 14 名)

題目：From Isolated Queues to Interacting Queues Is

Burkes Theorem Correct?

講演者：Professor Victor O. K. Li (The University of Hong Kong)

・ 関西支部主催第 31 回技術講演会

日時：2005 年 2 月 2 日（火） 14:00～15:30

場所：京都大学工学部 (参加者 25 名)

題目：「Associative Computing for Embedded Processors」

講演者：Prof. Robert A. Walker (Kent State University)

・ 関西支部主催第 32 回技術講演会

日時：2005 年 5 月 9 日（月） 15:00～16:30

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 (参加者 46 名)

題目：音声情報圧縮とその応用

講演者：板倉 文忠 名誉教授 (名古屋大学)

・ 関西支部主催第 33 回技術講演会

日時：2005 年 10 月 24 日（月） 13:30～15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 (参加者 29 名)

題目：Knowledgeable Location-Based Services

講演者：Prof. Stefano Spaccapietra

(Database Laboratory, EPFL,

Swiss Federal Institute of Technology at Lausanne)

4 . 主催セミナー

IEEE Region Activity Board Vice President Marc T. Apter 氏をお迎えするとともに、電子情報通信学会関西支部および情報処理学会関西支部とも連携し、関西支部主催で学会の活性化をテーマにした公開セミナーを開催した。当日は、学生会員を大学から企業にいかに橋渡しをしていくかについて、現状の課題と今後の方策について有意義な意見交換を行った。

日時：2005 年 7 月 7 日（木） 14:00～17:40

場所：住友クラブ 3F (参加者 32 名)

題目：学会の活性化について

5 . IEEE マイルストーン賞

関西支部より、シャープ(株)の電子式卓上計算機（電卓）が IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computing を受賞することとなり、12 月 1 日（木）に贈呈式が東京のフォーシーズンズホテル椿山荘で行われた。

IEEE マイルストーン賞は、IEEE が、電気・電子技術およびその関連分野において、社会に貢献した重要な歴史的偉業を称えるために 1983 年に制定された賞で、これまでに世界中で 60 以上のマイルストーン賞が認定され、日本では、八木アンテナ(1995)、富士山頂レーダー(2000)、東海道新幹線(2000)、セイコークォーツ腕時計(2004)に続く 5 例目となる。

6 . 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

- (1) 2004 年度と同様に、全体で会員数 2000 人を超えるべく、会員増加活動を行った。委員の所属する機関毎に数値目標を設け、会員増加活動を行った結果、年度末で 2030 人となり、目標を達成した。
- (2) 上記の達成は Student Activity Committee と連携を強めて学生会員の増強を図った結果でもあった。
- (3) 新 Senior Member へ関西支部メダルの授与の周知に努め、Senior Member への UpGrade を推奨した。

b. Nominations Committee

- (1) 昨年と同様に、支部役員の方々と連携をとり、Senior Member の拡大をはじめとする、正会員や学生会員の拡大活動を行った。
- (2) 2007 年 Fellow Nomination に関して、昨年同様の手続き、すなわち、関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部からの推薦者を決定することとした。回答期限を 12 月 20 日(火)として推薦待ちの状況である。依頼した Fellow 有資格者は 56 名 (E-mail アドレスの判明している方々)。この結果を待って、関西支部からの Fellow 推薦処理に入る予定。
- (3) 関西支部会員の中から支部推薦 9 名のうち 5 名が 2005 年 1 月 1 日付けで新 Fellow となった。浅田 稔、大森 裕、高橋 達郎、富永 昌治、葛原 正明 (現在、名古屋支部所属) の各氏である。

c. Student Activities Committee

SAC 委員会では、昨年に引き続き、学生会員の増強、学生会員の活動支援等の活動を行っている。

- (1) これまでに創設された 4 大学 (大阪大学、京都大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学) の Student Branch を中心に、学生会員の増強、学生会員の活動支援、対外活動、Student Branch 間の情報交換の促進、等の活動を行った。
- (2) Student Branch による自主的な活動としては、これまで 4 大学の合同での活動(2003 年度は奈良先端大で、2004 年度は大阪大学でワークショップ、研究発表会)を企画、開催してきている。今年度は、「関西支部に新たな Student Branch を設立するための活動」を企画、4 大学の Student Branch 役員を中心に、SAC 委員や関連大学 (神戸大、大阪府立大) の教員の協力を得て活動を行った。この活動は継続されている。また、立命館大学 IEEE Student Branch では、昨年に引き続き English Presentation Competition を 10 月に開催し、優秀発表者に IEEE 関西支部 Student Activities Committee から表彰状を授与した。
- (3) 11 月には横浜国立大学において IEEE Japan Council 主催の IEEE 学生ブランチリーダーシップトレーニングワークショップが開催され、関西支部の 4 大学 Student Branch から役員や学生の諸君が参加した。

- (4) Membership Development Committee と Student Activities Committee と合同で委員会を開催（4月，12月）連携して会員の増強、活動支援等の活動を行った。
- (5) Award Committee と連携して IEEE 関西支部学生研究奨励賞を企画し、審査を行った。

d. Technical Program Committee

	日付	場所	講演者	参加者数 (IEEE 会員参加者)	共催・協賛組織名
第 29 回	2004.12.10	大阪大学大学院	Prof. J. K. Aggarwal (The University of Texas at Austin.)	25 (6)	大阪大学大学院工学研究科
第 30 回	2005.1.25	大阪大学	Prof. Victor O. K. Li (The University of Hong Kong.)	14 (5)	大阪大学工学部
第 31 回	2005.2.2	京都大学	Prof. Robert A. Walker (Kent State University)	25 (17)	京都大学大学院工学研究科
第 32 回	2005.5.9	NTT コミュニケーション科学基礎研究所	板倉文忠 教授 (名城大学、名古屋大学名誉教授)	46 (27)	日本音響学会関西支部 NTT コミュニケーション科学基礎研究所
第 33 回	2005.10.24	NTT コミュニケーション科学基礎研究所	Prof. Stefano Spaccapietra (Database Laboratory, EPFL, Swiss Federal Institute of Technology at Lausanne)	29 (7)	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 けいはんな Web Semantics 研究会

(注) 第 29 回(2004.12.10 J.K.Aggarwal 教授)は前年度に開催されたが、前年度の報告書提出の時点ではこの開催が決定されていなかったため、今年度の報告書に記載致した。

e. Awards Committee

2004 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。News Letter および関西支部 Web を通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部理事会で決定した。なお、2004 年度も GOLD Award の表彰楯は、Japan Council の Section 支援費よりご支援頂き作成を行った。また、2003 度に新設された IEEE 関西支部学生研究奨励賞の審査を、今年度も継続して SAC と合同で審査委員会を設立し行った。本賞については、Japan Council の Section 支援費より、賞状作成費ならびに副賞のご支援を頂いた。GOLD 賞ならびに関西支部学生研究奨励賞については、2006 年 2 月の支部総会において授与する予定である。

7 . Kansai Chapter 活動報告

a . EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

4 月 11-13 日には IEEE EDS の関西発の電子デバイス国際会議である”2005 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (2005 IMFEDK)” を京都大学百周年時計台記念館にて開催した。基調講演に Prof. Chenming Hu (University of California, Berkeley) 浜川圭弘先生 (立命館大学) を招き、招待講演 8 件、一般講演 21 件の口頭発表に加えてポスターセッションも開催、更に会議に先立った Tutorial 講演会や開催期間での企業展示会を行うなど盛大な催しとなった。学生や若手研究者を中心に 182 名を超える参加者を集め、盛況のうちに終了した。

また、技術講演会としてはすでに定例となった関西コロキウム電子デバイスワークショップを 10 月 26 日、大阪大学中之島センターにて開催した。当日は関西在住の研究者による国際レベルの研究成果を日本語にて発表し、活発な討論が行われた。

DL 講演を含む技術講演会については今年 3 回開催した。2 月 18 日には、栄森貴尚氏 (ルネサステクノロジ) 堀敦氏 (松下電器) 引田正洋氏 (松下電器) の 3 名による 2004IEDM 報告会(場所：大阪大学吹田キャンパス)を開催した。

4 月 19 日には京都大学吉田キャンパスにおいて、野澤博先生(京都大学)による DL 講演会 (題目 : 「強誘電体メモリーを用いた SoC 技術動向 - 強誘電体メモリーのロジック応用と信頼性-」) を行なった。7 月 15 日には Prof. Cary Y. Yang (Santa Clara University) による DL 講演(題目 : "Carbon Nanofiber On-chip Interconnects")、及び上野修一氏(ルネサステクノロジー)による技術講演(題目 : "MRAM の技術動向")を京都キャンパスプラザで行ない、最先端デバイス技術に関する技術交流の場を持つことができた。

この他、EDS News Letter に活動成果を投稿し、1 月、4 月、7 月、10 月各号に記事掲載された。

b . SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2005 年 6 月 14 日と 2005 年 12 月 12 日に京都と大阪で SSCS 技術講演会を主催した。6 月 14 日は井上一成氏 (ルネサステクノロジ) および Dr. Kevin Zhang(Intel)の 2 名の講演者を招いて、「機能メモリと応用技術/最先端メモリの技術動向」に関して、12 月 12 日は、谷口研二教授 (大阪大学) と飯塚邦彦氏 (シャープ) の 2 名の講演者を招いて、「最新 CMOS アナログ集積回路の技術動向」に関して、最新技術情報を提供した。両講演会とも 50 名以上の参加者を集めて活発な質疑応答が行われた。なお、技術講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://www.ieee.se.ritsumei.ac.jp/sscs/>

2005 年 9 月 15 日には、京都大学と共催で「COE Workshop on SoC Design and Automation」を開催し、優秀発表者に IEEE SSCS Kansai Chapter 賞を授与した。

この他、2 月に開催された EDS Kansai チャプタの IEDM 報告会 (大阪) に協賛した。また、システム LSI ワークショップには、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対して IEEE SSCS Japan Chapter

奨励賞を授与した。この他、STARC シンポジウム、VDEC デザイナーフォーラム、VDEC リフレッシュ教育、日本 台湾マイクロエレクトロニクスシンポジウム等、この分野の技術者及び学生が多数集るイベントに協賛し、活動のアピールと会員獲得に務めた。

c . CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2005 年 1 月 13 日と 14 日の二日間にわたって、国立済州大学 (韓国済州島) において、大阪大学大学院工学研究科と光州科学技術大学院との共催で「先端的回路設計技術に関する日韓共同ワークショップ」を開催した。日本と韓国双方から、招待講演数 12 件、参加者数 45 名と、先端的研究に関して、有益な技術・研究交流を行うことができた。また、11 月 10 日には、電子情報通信学会コンカレント工学 (CST) 研究会及び回路とシステム (CAS) 研究会と共催で、山口大学吉田キャンパスにおいて、山口大の藤沢健太氏による「情報通信を利用した電波天文観測」と題する講演会を開催した。これには、IEEE 会員 25 名を含む 49 名の参加を得て、質の高い講演と活発な議論を行うことができた。講演者の藤沢健太氏は IEEE 会員ではなく、また電波天文観測という異分野の講演内容ではあったが、今後、情報通信技術がこのような分野にも活発に利用され得るという意味で、IEEE 会員、特に当チャプタ関連の Circuits and Systems Society にも興味深い内容であり、大変有意義な講演会であった。

8 . 協賛会議

- ・電気学会 電力・エネルギー部門大会
日時：2005 年 8 月 10 日(水)～12 日(金)
場所：大阪大学 豊中キャンパス
- ・International Conference on Entertainment Computing 2005 (ICEC2005)
日時：2005 年 9 月 19 日(月)～21 日(水)
場所：関西学院大学 三田キャンパス
- ・システム制御情報セミナー2005
「製品開発に活かせる組込みシステムの基礎と事例」
日時：2005 年 10 月 13 日(木)～14 日(金)
場所：大阪大学 中之島センター
- ・The ninth annual IEEE International Symposium on Wearable Computers (ISWC2005)
日時：2005 年 10 月 18 日(火)～21 日(金)
場所：大阪産業創造館

9 . Region 10 Meeting

2005 年 3 月 30 日 (水) ~ 31 日 (木) の日程でシンガポールにて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より小山 Chair、石田 Secretary、Region 10 Regional Chapter Coordinator として山本 AC Chair が出席した。支部運営に関する Tutorial、Training Session などが中心であった。

10 . Section Congress 2005

2005 年 10 月 14 日 (金) ~ 17 日 (月) の日程でアメリカ・フロリダタンパにて開催された Section Congress 2005 には、関西支部より小山 Chair、谷岡 Vice Chair、石田 Secretary、Region 10 Regional Chapter Coordinator として山本 AC Chair が出席した。Section Officers の役目から、Newsletter、e-mail の効果的な使用方法にいたるまで Section 活動・運営全般に関するレクチャーが行われた。また、Region 10 Meeting が、本会議の最後日の午後に開催された。例年通り Section 活動に関するトレーニングのセッションが設けられた。

11 . 情報の発信

(1) 支部 Web ページ

2005 年 1 月に支部の独自ドメインを取得し、タイムリーに情報発信した。

URL <http://www.ieee-kansai.org/>

(2) 電子メールの利用

技術講演会、協賛会議等の案内をタイムリーに、電子メール・支部 Web を用いて広く公告するなど情報発信に努めた。

(3) News Letter

Kansai Section Gold 賞、学生研究奨励賞の募集をはじめ、支部に関する情報を News Letter 形式で 4 月と 9 月に提供した。

2005 年関西支部会計報告

収入の部 予算案 (単位: 円)

IEEE Entity 間勘定	4,703,185	5,031,031		
• Section Rebate (IEEE 本部より)	1,018,710	1,082,644	\$9,966.35 @108.63 円/\$	8/15
• Section Assessment 2004 後期 (同上)	129,195	131,410	\$1,230.43 @106.80 円/\$ (2004 年度後期末入金分)	5/26
• Section Assessment 2005 前期 (同上)	3,520,000	3,677,979	\$34,438.01 @106.80 円/\$	5/26
• Section Assessment 2005 後期 (同上)		68,823	\$609.06 @113.00 円/\$	10/17
• MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	21,630	22,921	\$211.00 (2004 年度未入金分)	8/15
• MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	---	28,787	\$265.00	8/15
• The Nominate Senior Member Initiative (同上)	3,150	7,604	\$70.00	8/15
• Student Branch 設立支援金 (同上)	10,500	10,863	\$50.00+\$50.00	8/15
その他	703,320	601,680		
• SSVR 支援金 (学会活性化セミナー)	---	223,080	R10 より \$2,000 @111.54 円/\$	7/21
• Section 支援金 (Gold Award 楯代)	58,800	58,800	JC より (2004 申請分)	2/18
• Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	319,800	319,800	JC より (2004 申請分)	2/18
• Section 支援金 (関西支部メダル代)	324,720	0		
利息	---	17		
2004 年からの繰越金	1,731,990	1,731,990		
合計	7,138,495	7,364,718		

Rebate 内訳 { \$2,000 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 169) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,783) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 169) + \$200 × (Chapter 数 = 3) } × 1.10 + \$200 (Section Bonus)

Student Branch 支援金は奈良先端科学技術大学院大学設立分

支出の部 予算案 (単位: 円)

IEEE Entity 間勘定	3,593,500	3,951,333		
• Japan Council 拠出金	3,520,000	3,875,292		7/15,10/31
• Chapter Rebate	63,000	65,178	\$200.00×3 @108.63 円/\$	8/23
• Student Branch 設立支援金	10,500	10,863	\$100.00 @108.63 円/\$	8/23
会合・AWARD 費	1,559,520	1,750,748		
• 総会費	150,000	209,232	会場費, 資料代など	2/10
• 講演会	150,000	30,000	謝金	2/2
• 理事会費	250,000	228,484	会場代, 飲食代	1/18,2/10,4/18, 6/21,9/7,12/15
• Committee 会合費	300,000	343,250	MDC/SAC	4/26,12/13
• Gold Award 費	65,000	61,200	楯代, 受賞者交通費	2/10
• 学生研究奨励費	319,800	335,426	賞金, 賞状代, 交通費	2/10
• 支部メダル費	324,720	324,720	造幣局	2/7
• 関西支部主催セミナー	---	198,436	学会活性化セミナー	7/7
• Student Branch 支援費	---	20,000	立命館大学 Student Branch	10/25
事務経費	60,000	80,226		
• 通信費	5,000	7,125	Web 管理費 (2 年分)	1/31,12/13
• 事務用品費	5,000	15,796	リボン, 名札等	
• 旅費	50,000	57,305	SC2005 \$500.00@114.61 円/\$	10/13
雑費	20,000	14,208	為替手数料, 振込手数料など	
2006 年への繰越金	1,905,475	1,568,203		
合計	7,138,495	7,364,718		

関西支部会員数

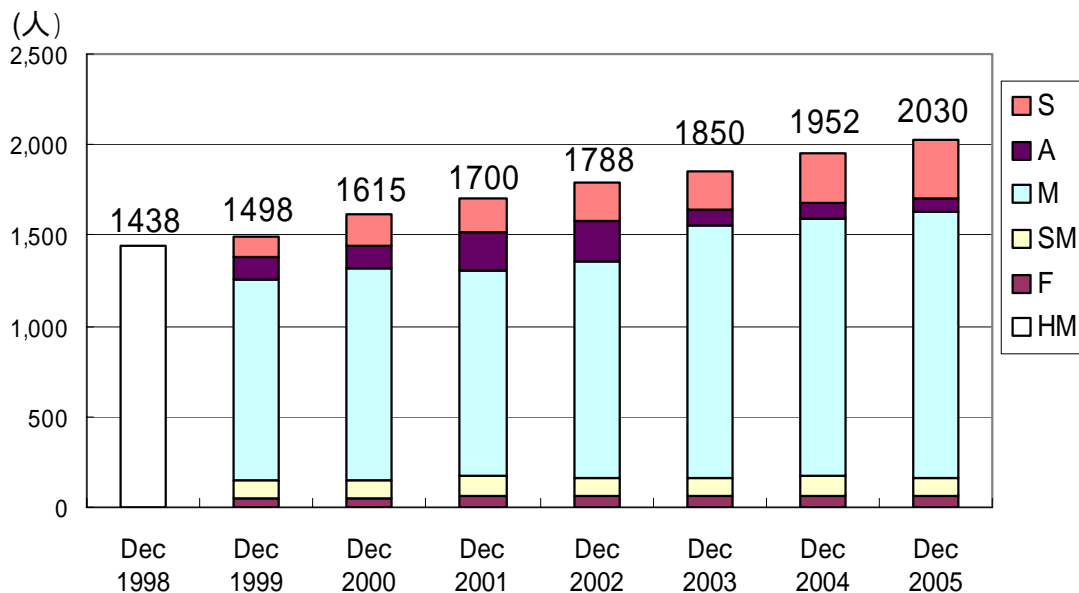
1. グレード別会員数

2005.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	21
Fellow	F	47
Life Senior Member	LS	3
Senior Member	SM	96
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	25
Member	M	1,442
Pending Member	PM	0
Life Associate	LA	0
Associate	A	76
Student	S	320
Total		2,030
Affiliate of an IEEE Society	AF	146

上記集計では、Active 会員のみをカウントし、かつ、他のセクションへの移籍者等は含まない。

2005年12月においてAR(1年未満滞納者)は176名である。



2 . ソサイエティ別会員数

2005.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	154
Broadcast Technology	BT-02	8
Antennas and Propagation	AP-03	65
Circuits and Systems	CAS-04	135
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	23
Vehicular Technology	VT-06	44
Reliability	R-07	15
Consumer Electronics	CE-08	19
Instrumentation and Measurement	IM-09	21
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	19
Computational Intelligence	CIS-11	96
Information Theory	IT-12	54
Industrial Electronics	IE-13	32
Engineering Management	EM-14	26
Electron Devices	ED-15	200
Computer	C-16	563
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	157
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	63
Communications	COM-19	212
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	34
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	23
Oceanic Engineering	OE-22	12
Control Systems	CS-23	105
Robotics and Automation	RA-24	92
Education	E-25	11
Professional Communication	PC-26	0
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	23
System, Man and Cybernetics	SMC-28	102
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	13
Social Implications of Technology	SIT-30	8
Power Engineering	PE-31	56
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	12
Magnetics	MAG-33	38
Industry Applications	IA-34	37
Power Electronics	PEL-35	33
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	119
Solid-State Circuits	SSC-37	170
Intelligent Transportation Systems	ITSS-38	18
Product Safety Engineering	PSE-43	4
Total		2,816

2006年関西支部役員・理事

Section Officers

Chair:	小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
Vice Chair:	谷岡 匠	(かんでんジョイライフ)
Secretary/Treasurer:	石田 文章	(関西電力)

理事

MDC Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
NC Chair:	中村 行宏	(京都大学)
SAC Chair:	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
TPC Chair:	山本 誠一	(同志社大学 / ATR)
AC Chair:	山本 幹	(関西大学)
CPC Chair:	山本 幹	(関西大学)

理事 (Past Officers, Past Committee Chairs)

Past Chair:	白川 功	(兵庫県立大学)
Past Vice Chair:	管村 昇	(工学院大学)
Past Secretary/Treasurer:	前田 英作	(日本電信電話)
Past TPC Chair:	間瀬 健二	(名古屋大学 / ATR)

Committee Officers

a. Membership Development Committee :

Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
Secretary:	土居 元紀	(大阪電気通信大学)
Member:	太田 有三	(神戸大学)
	片桐 恭弘	(国際電気通信基礎技術研究所)
	勝川 保	(住友電気工業)
	勝山 豊	(大阪府立大学)
	宮本 雅之	(シャープ)
	阪部 茂一	(三菱電機)
	庄中 永	(オムロン)
	瀬恒 謙太郎	(松下電器産業)
	辰巳 昭治	(大阪市立大学)
	福田 秀樹	(関西電力)
	藤田 智弘	(立命館大学)
	松平 盛夫	(三洋電機)
	三好 正人	(日本電信電話)
	酒井 英昭	(京都大学)

b. Nominations Committee :

Chair:	中村 行宏	(京都大学)
Member:	和田 修	(神戸大学)
	山本 裕	(京都大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	片桐 滋	(日本電信電話)
	植村 俊亮	(奈良先端科学技術大学院大学)

c. Student Activities Committee :

Chair:	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
Member:	尾上 孝雄	(大阪大学)
	小野寺 秀俊	(京都大学)
	沼 昌宏	(神戸大学)
	松本 健一	(奈良先端科学技術大学院大学)
	柳田 益造	(同志社大学)
	山内 寛紀	(立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair:	山本 誠一	(同志社大学 / ATR)
Vice Chair:	大森 裕	(大阪大学)
Secretary:	三好 正人	(日本電信電話)

e. Awards Committee :

Chair:	山本 幹	(関西大学)
Member:	朝香 卓也	(京都大学)
	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
	太田 能	(神戸大学)
	大橋 正治	(大阪府立大学)
	岡 育生	(大阪市立大学)
	黒江 康明	(京都工芸繊維大学)
	近藤 晴房	(三菱電機)
	千葉 徹	(シャープ)
	戸出 英樹	(大阪大学)
	山内 寛紀	(立命館大学)

f. Chapter Promotion Committee : (一部調整中)

Chair:	山本 幹	(関西大学)
Member:	浅田 稔	(大阪大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	石尾 秀樹	(大阪工業大学)
	大平 孝	(国際電気通信基礎技術研究所)
	小南 昌信	(大阪電気通信大学)
	中津 良平	(関西学院大学)
	中村 行宏	(京都大学)
	野田 進	(京都大学)

2006 年 Kansai Chapter 役員

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair:	谷口 研二	(大阪大学)
Vice Chair:	西村 正	(ルネサステクノロジ)
Secretary:	松岡 俊匡	(大阪大学)
Treasurer:	益子 洋治	(大分大学)

SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter :

Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
Vice Chair:	山口 聖司	(松下電器産業)
Secretary:	藤野 毅	(立命館大学)
Treasurer:	宮本 雅之	(シャープ)

CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter :

Chair:	神戸 尚志	(近畿大学)
Vice Chair:	小野寺 秀俊	(京都大学)
Secretary:	橋本 昌宜	(大阪大学)
Treasurer:	山田 晃久	(シャープ)

2006年関西支部活動計画

1. 総会

2006年2月14日(火) 15:00~17:30の予定で、2006年定例総会を実施する。

2. 理事会

第1回理事会 1月17日 中央電気倶楽部

- ・2006年総会について
- ・2005年会計報告について
- ・Chapter Promotion Committeeの設立について
- ・IEEE Milestones 受賞記念講演会について

第2回理事会 2月14日 関西電力本店

- ・2006年総会について

2006年中に、さらに数回の理事会を開催する予定である。

3. 技術講演会

Technical Program Committeeの企画により講演会を実施する。

4. IEEE マイルストーン賞受賞記念講演会

関西支部より推薦したシャープ(株)の電子式卓上計算機(電卓)が IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computingを受賞したことを記念して講演会を開催する。

日時: 2006年4月6日(木) 14:00~17:40

場所: 住友クラブ3F

5. 関西支部 Gold Award

2005年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

6. 関西支部学生研究奨励賞

2005年に引き続き、学生研究奨励賞受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

7. 関西支部メダル

2005年に引き続き、新 Senior Member に対して関西支部メダルを授与する。

8. 各 Committee 活動計画

a. Membership Development Committee

- (1) Senior Member のメダリストをさらに増やすことで、前年度と同様に会員の増加に結びつける。
- (2) 前年度と同様に Student Activity Committee と連携を深め、学生会員の増加につなげる。

b. Nominations Committee

- (1) 2005 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member だけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。
- (2) Fellow 候補者をできるだけ多く Nominate する。Fellow Nomination に関して、2005 年と同一手順で実行の予定。併せて、一般 Member に対し、Senior Member への upgrade を勧める。

c. Student Activities Committee

(1) Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学に加え、神戸大学、大阪府立大学他を対象に Student Branch の設立を目指す。

(2) 学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。関西支部の 4 大学 Student Branch を中心に、交流会を引き続き開催し、Student Branch 間の交流を深める。2004 年から開始した IEEE 関西支部学生研究奨励賞を(Awards Committee と共同して) 継続して企画し、優れた英文論文を発表した学生を表彰し、学生会員の研究を奨励する。

(3) 関西支部配下の Student Branch の 2006 年の体制は以下の通りである。
(学年は 2006 年 4 月時点の予定)

1. 大阪大学

Counselor: 尾上 孝雄 (大阪大学 教授)
Mentor: 岡田 圭介 (ルネサステクノロジ)
Chair: 松村 友哉 (博士 2 回生)
Vice-Chair: 渡辺 賢治 (博士 1 回生)
Treasurer: 野里 良弘 (修士 2 回生)
Secretary: 三好 悠司 (博士 1 回生)

Website URL: <http://www-ise2.ist.osaka-u.ac.jp/ieee/>

2. 京都大学

Counselor: 中村 行宏 (京都大学 教授)
Mentor: 澤田 宏 (日本電信電話)
Chair: 菅野 裕揮 (修士 2 回生)
Vice-Chair: 日向 文彦 (修士 1 回生)
Treasurer: 廣本 正之 (修士 1 回生)
Secretary: 原 悠記 (修士 1 回生)

Website URL: <http://ieee.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

3. 立命館大学

Counselor: 山崎 勝弘 (立命館大学 教授)
Mentor: 川上 善之 (松下電器産業)
多田 章 (ルネサステクノロジ)
Chair: 坂井田 稔 (修士 2 回生)

Vice-Chair: 西村 功 (修士 2 回生)
Treasurer: 松崎 裕樹 (修士 1 回生)
Secretary: 石嶋 宏亘 (修士 1 回生)
Website URL: <http://www.ieee.se.ritsumei.ac.jp/>

4 . 奈良先端科学技術大学院大学

Counselor: 松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学 教授)
Mentor: 阪井 誠 (S R A 先端技術研究所)
Chair: 山内 寛己 (博士 2 回生)
Vice-Chair: 栗山 進 (博士 2 回生)
Treasurer: 上野 秀剛 (博士 1 回生)
Secretary: 柿元 健 (博士 2 回生)

Website URL: http://se.naist.jp/sb/index_ja.html

d . Technical Program Committee

2005 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2006 年は 5 回以上の企画・開催を目指す。

従来から継続している、大阪・京都地区での講演会の開催、会員からの講演会の提案受付、シリーズ講演会の開催などは今後も引き続き積極的に取り組んでいく。IEEE Distinguished Lecturer による講演会等の企画にも取り組む。

e . Awards Committee

2005 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定作業、ならびに「IEEE 関西支部学生研究奨励賞」の選定作業を継続して若手会員の増強を図る。また、中長期的視点で学生会員や若手会員のさらなる増強をねらい、予算措置を視野に入れながら新企画の検討を行う。

f . Chapter Promotion Committee

関西支部内に会員数が 100 名以上のソサイエティに対しては、Chapter 設立に向けて積極的に活動する。また、50 名以上のソサイエティに対しても、Chapter 設立の実現に向けて活動を展開する。

9 . Kansai Chapter 活動計画

a . EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

本年も国際会議、技術講演会を中心に積極的に活動を展開する。国際会議”International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK) ”は本年も主催 (4 月 24-26 日、京都大学百周年時計台記念館) 定例の関西コロキウム電子デバイスワークショップも 10 月に開催の予定である。好評であった IEDM 報告会は本年も 1 月 11 日、大阪大学中之島センターで開催すると共に、Distinguished Lecturer を招いての技術講演会 (DL Meeting) も積極的に開催する予定にしている。

この他、関西地区で開催される各種会議・研究会にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得にもつとめていく計画である。

b . SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2006 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

c . CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2006 年も 2005 年と同様に、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。既に、2006 年 1 月には、昨年引き続き、大阪大学において、第 2 回目の「先端的回路設計技術に関する日韓共同ワークショップ」の開催が予定されており、活発な技術・研究交流が行われる予定である。

また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、学会活動への貢献と会員獲得につとめる計画である。

10 . 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。現在、1 件の協賛会議が予定されている。

- ・ The 2006 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)
日時 : 2006 年 4 月 24 日(月) ~ 26 日(水) [予定]
場所 : 京都大学時計台ホール

2006 年関西支部予算

収入の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	5,362,733	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,148,114	\$9,983.60 (2005.12 会員数より推定)
・ Section Rebate 2005 Additional (同上)	139,357	\$1,211.80 (2005 未入金分)
・ Section Assessment 2006 前期 (同上)	3,960,371	\$34,438.01 (2005 年実績)
・ Section Assessment 2006 後期 (同上)	70,041	\$609.06 (2005 年実績)
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	36,800	\$320.00 (2005.12 会員数より推定)
・ The Nominate Senior Member Initiative (同上)	8,050	\$70.00 (2005 年実績)
その他	704,380	
・ Section 支援金 (Gold Award 楯代)	60,000	JC より (2005 申請分)
・ Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	319,800	JC より (2005 申請分)
・ Section 支援金 (関西支部メダル代)	324,580	JC より (2005 申請分)
2005 年からの繰越金	1,568,203	
合計	7,635,316	

115 円/\$として計算

Rebate 内訳 { \$2,000 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 167) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,863) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 146) + \$200 × (Chapter 数 = 3) } × 1.10

支出の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,099,413	
・ Japan Council 拠出金	4,030,413	\$35,047.07 (2005 年実績)
・ Chapter Rebate	69,000	\$200.00 × 3
会合・AWARD 費	1,876,580	
・ 総会費	250,000	会場費、資料代など
・ 講演会	150,000	謝金
・ 理事会費	300,000	会場代、飲食代
・ Committee 会合費	400,000	MDC/SAC
・ Gold Award 費	62,000	楯代、交通費
・ 学生研究奨励費	340,000	賞金、賞状代、交通費
・ 支部メダル費	324,580	造幣局
・ Student Branch 支援費	50,000	
事務経費	63,150	
・ 通信費	3,150	Web 管理費
・ 事務用品費	10,000	
・ 旅費	50,000	
雑費	20,000	為替手数料、振込手数料など
2007 年への繰越金	1,576,173	
合計	7,635,316	

115 円/\$として計算

関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

Section3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

- Standing Committee Chairs
- representatives of Chapters,
- such other members appointed by the Section Executive Committee,
- and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE VII --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部
Technical Program Committee

1. 受付、承認の手続き

- (1) 受付：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC (Technical Program Committee) に提案する。
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
- ・講演者氏名、所属
 - ・講演予定日時、場所
 - ・講演予定内容 (タイトル、アブストラクト) (英文可, 200-300words)
 - ・講演者略歴 (英文可, 100-300words)
 - ・IEEE 会員へのメリット (会員への講演の関連性、推薦のことば)
 - ・推薦者氏名、所属、(IEEE 関西支部役職)
 - ・担当者氏名・連絡先 (tel, fax, e-mail)
 - ・共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
- (i) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
 - (ii) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 (東京支部) を依頼する。
- (5) 参加受付：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付スタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは (共催先と相談して) 柔軟に運用、なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す。
参加者には名簿に記入していただく。(参加者数の把握とデータベース化)
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す。
ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

2. Technical Program Committee Member

Chair: 山本 誠一 (同志社大学 seyamamo@mail.doshisha.ac.jp)
Vice Chair: 大森 裕 (大阪大学 ohmori@casi.osaka-u.ac.jp)
Secretary: 三好 正人 (日本電信電話 miyo@cslab.kecl.ntt.co.jp)

2006 年 IEEE 関西支部連絡先

〒530-8270 大阪市北区中之島 3-6-16
関西電力株式会社 研究開発室 研究企画グループ内
TEL : 06-7501-0335 FAX : 06-6441-9864
e-mail: sec@ieee-kansai.org
URL : <http://ewh.ieee.org/r10/kansai/>
<http://www.ieee-kansai.org/>